

平成 28 年度

学士学位論文

OpenStack 環境でのオーケストレーション定義を容易にする GUI エディタの実現

1160304 川口 貴大

指導教員 横山 和俊

2016/02/15

高知工科大学 情報学群

要 旨

OpenStack 環境でのオーケストレーション定義を容易にする GUI エディタの実現

川口 貴大

近年，IT リソースの迅速な確保，コスト削減等の目的からシステムの基盤として IaaS の需要が高まっている．IaaS を用いたものに限らず，IT サービスにおけるシステム設計では冗長化や負荷分散，処理の効率化といった理由により，複数マシンの構成となる場合が多く見られる．しかし，システムの流用や再利用が求められる場面では，大規模なシステムになるにつれ，マシン台数も増加し設定に掛かる工程が増大してしまう．そのため，システム再現における作業の効率化が求められている。

OpenStack は最も開発が進んでいる IaaS 基盤ソフトウェアの一つであり、コミュニティには多くの有名企業が参加している。OpenStack では Heat と呼ばれるオーケストレーション（自動構築）機能を提供するソフトウェアにより、システムの再現を効率化している。Heat では IT リソースの構成情報を記述した設計図（テンプレートファイル）を読み込ませることで、その構成情報を基に自動的にシステムの構築を行う。そのため、テンプレートファイルの作成はシステムを構築する上で重要な役割を担っている。しかし、テンプレートファイルは書式が複雑であり、記述を行う際には Heat 独自の知識を要する。また、テキストファイルであるため、記述量の増加によるミスや、構成情報がテキストからイメージし難いという問題も抱えている。

本研究では GUI を用いることにより、従来のテキスト入力における問題点を解決するテンプレートファイル作成手法を研究し、新規テンプレートファイル作成ツールの開発を

キーワード OpenStack , IaaS , Heat , オーケストレーション

Abstract

English

key words English

目次

第 1 章	はじめに	1
1.1	IaaS の動向	1
1.2	OpenStack の概要	1
1.3	Heat の概要	1
1.4	現状の問題点	2
1.5	問題点の解決方法	2
第 2 章	オーケストレーション定義エディタの提案	3
2.1	オーケストレーション定義エディタの概要	3
2.2	オーケストレーション定義エディタの要件	3
2.3	Heat で扱うリソース	3
2.4	リソースの依存関係	3
2.5	テンプレートファイルへの出力補助方法	3
2.6	入力されたデータの扱い	3
第 3 章	オーケストレーション定義エディタの実装	4
3.1	動作環境	4
3.2	画面構成	4
3.2.1	構成確認画面	4
3.2.2	詳細入力画面	4
3.3	テンプレートファイル出力の流れ	4
3.3.1	インスタンスに関する記述について	4
3.3.2	ネットワークに関する記述について	4
第 4 章	評価	5

目次

4.1	評価の目的	5
4.2	評価内容	5
4.3	評価環境	5
4.4	結果	5
4.5	考察	5
第 5 章	おわりに	6
5.1	研究のまとめ	6
5.2	今後の課題	6
謝辞		7
参考文献		8
付録 A		9
付録 B		10

图目录

表目次

1.1 OpenStack の主要コンポーネント	2
------------------------------------	---

第 1 章

はじめに

1.1 IaaS の動向

サーバー仮想化や通信ネットワークの技術進歩に伴い、クラウドコンピューティングが普及している。一般ユーザー向けに提供されるサービスや、企業内で利用される専用アプリケーションなど、多くのサービスがクラウドを用いて提供されており、クラウドコンピューティングにおいて IaaS の需要が高まっている。総務省が公開している「平成 27 年度版 情報通信白書」第 2 部によると、図 1 に示す通り市場規模における IaaS の割合が、

1.2 OpenStack の概要

OpenStack は、機能別にコンポーネントが分かれており、各コンポーネントが相互に連携して動作する。OpenStack の主要コンポーネントを表 1 に示す。

1.3 Heat の概要

Heat とは、本来 OpenStack 利用者が手動で、各コンポーネントに指示を出し行っている仮想環境構築の手順を自動化する機能を提供している。自動化の手順としては、各コンポーネントを実行するために必要な項目を「Heat テンプレートファイル（以降テンプレートファイルと呼ぶ）」に記述、テンプレートファイルを読み込むことで各コンポーネントで実行される内容を自動で実行し仮想環境を構築を行うというものである。尚、テンプレートファイルには独自の書式が存在する。

1.4 現状の問題点

表 1.1 OpenStack の主要コンポーネント

コンポーネント	機能
Glance	仮想マシンで使用されるゲスト OS の管理
Cinder	ブロックストレージにてゲスト OS 等を永続管理
Neutron	仮想ネットワークの管理
Horizon	OpenStack の操作管理を行う WebUI の提供
Swift	オブジェクトストレージの提供
Heat	仮想環境構築のためのオーケストレーション機能の提供

1.4 現状の問題点

OpenStack の各コンポーネントを自動化することができる Heat だが、現状問題が存在する。以下が問題点である。

- Heat テンプレートファイルの複雑な書式
 - － 入力内容の不明確さ
 - － インデントの深さによる入力項目区別
- テキスト記述量
 - － 新規項目追加毎に関連項目全てを追加入力
- テンプレートファイルから構成情報を把握することの難しさ
 - － 複雑な書式、膨大な量のテキスト記述量から一見して構成を把握することが困難

1.5 問題点の解決方法

提示した問題点を解決するために、以下の解決案を提案する。

- Heat 専門知識の排除
 - － 入力者側が細かな書式を気にしないで済むようなもの

1.5 問題点の解決方法

- 入力内容の明確化
 - － 何を入力すればよいのか項目名を追加
- テキスト記述量の削減
 - － インスタンス名記述項目以外の項目で手動入力を撤廃，プルダウンメニューによる選択肢を提供
- 構成情報の可視化
 - － 現在構築中の構成情報についてアイコンを用いて可視化

第 2 章

オーケストレーション定義エディタ の提案

- 2.1 オーケストレーション定義エディタの概要
- 2.2 オーケストレーション定義エディタの要件
- 2.3 Heat で扱うリソース
- 2.4 リソースの依存関係
- 2.5 テンプレートファイルへの出力補助方法
- 2.6 入力されたデータの扱い

第 3 章

オーケストレーション定義エディタ の実装

3.1 動作環境

3.2 画面構成

3.2.1 構成確認画面

3.2.2 詳細入力画面

3.3 テンプレートファイル出力の流れ

3.3.1 インスタンスに関する記述について

3.3.2 ネットワークに関する記述について

第 4 章

評価

4.1 評価の目的

4.2 評価内容

4.3 評価環境

4.4 結果

4.5 考察

第 5 章

おわりに

5.1 研究のまとめ

5.2 今後の課題

謝辭

参考文献

付録 A

付録 B